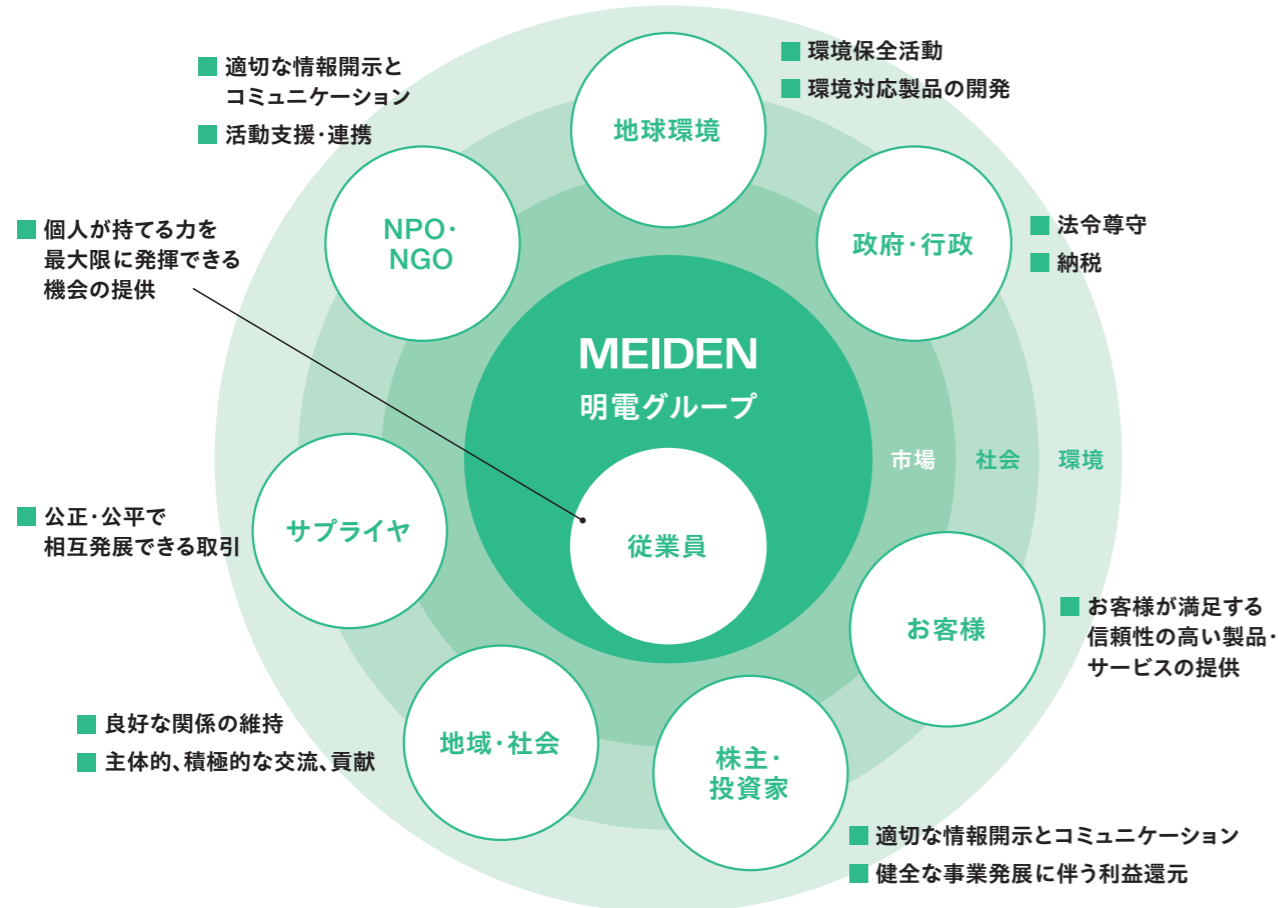


ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダー相関図



ステークホルダーとの対話事例

1 | サプライヤ

業容が急拡大するインドで初のパートナーズミーティングを開催

2023年12月、海外変電事業の重要戦略拠点の一つであり、変圧器の製造・販売を手掛けるMEIDEN T&D (INDIA) LIMITEDにて、パートナー(サプライヤ)との関係強化を図るべく、インドでは初となるパートナーズミーティングを開催しました。当日は、タンク、ブッシング、絶縁油、物流関係を含む現地のパートナー企業50社から、72名にご参加いただきました。当社の事業戦略や今後の需要予測などを共有し、広大な国土を有すインドで迅速かつ効率的にビジネスを展開するためのサポートをお願いしました。今後も継続的に実施し、パートナー企業との相互発展を目指します。



2 | 株主・投資家



潜在株主との接点の拡充を目指し、個人投資家向けイベントに出展

機関投資家やアナリスト等に対するIR・SR活動の強化に加え、将来の株主となりうる個人投資家とのリレーションを深化させるべく、2023年度は名古屋証券取引所が主催した関連イベントに出展し、個人投資家の皆様と直接お話しする機会を設けました。2日間で460名以上の方に当社ブースへ足を運んでいただき、事業内容や成長戦略等についてご紹介しました。対話で得られたご意見は、IR担当部門から社内外役員、スタッフ部門、管理職層などへ幅広く共有し、当社の経営戦略策定等における貴重なインプットとしています。

3 | 従業員

社長によるタウンホールミーティングへ1,000人以上の従業員が参加

2023年8月、「個を活かし成長する組織への転換」を主題とした、オンラインイベント「タウンホールミーティング」を初開催しました。当日は、執行役員社長の井上から、一人ひとりのMYビジョン・MYチャレンジを軸に、個々のパフォーマンス・企業価値の最大化を実現する組織に変わることを表明しました。また社長自身が仕事に臨むうえでの想い・MYビジョンやその原体験となったエピソードを披露し、参加した従業員がチャットで感想・意見を寄せ、社長が反応・回答するなど、双方向の交流として大いに盛り上がりました。引き続き、従業員の想いを大切にす会社として経営層と従業員の対話・接点の拡大を図っていきます。



基本的な考え方

明電グループは、企業の中長期的な企業価値の向上及び持続可能な社会の実現のために、ステークホルダーとの対話は必要不可欠であると考えており、以下のような取組みを実施しています。

今後もステークホルダーとの建設的な対話を率先して重ね、いただいたご意見を経営に反映していくことで、新たな企業価値創出を目指し、継続的な成長につなげていきます。

ステークホルダーとの対話

ステークホルダー	ステークホルダーとの関わり	対話手段(頻度)	担当部門
お客様	明電グループでは、「電気ので世の中を豊かにしたい」という創業者の信念が127年の時を経て今なお受け継がれています。電気のでお客様の課題を解決すべく製品の設計・開発・製造に努めると同時に、納めた製品を保守・メンテナンスして長くご使用いただき、お客様との長期的な信頼関係の構築に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の営業活動(日常的) お客様機場での保守サービス、施工管理(日常的) 製品展示会(随時) ウェブサイト(日常的) カスタマーセンター(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業部の営業担当部門 保守サービス部門 プラント建設部門 カスタマーセンター
サプライヤ	明電グループでは、ビジネスパートナーとして、お取引先とのサステナブルな関係構築を目指し、協働と共創を基本的な考え方として、お取引先とのエンゲージメント向上に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> パートナーズミーティング(年1回) 生産計画説明会(年1回) サプライヤポータル(日常的) ウェブサイト(日常的) 公益通報窓口(日常的) 各種セミナー等(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 調達担当部門 生産技術担当部門
株主・投資家	明電グループでは、株主様・投資家様へのタイムリーかつ公平で正確な情報開示に努めています。中長期的な企業価値向上を図るべく、株主様・投資家様との建設的な対話に積極的に取り組む他、可能な範囲で経営幹部が対応することを方針としています。	<ul style="list-style-type: none"> 証券アナリスト・機関投資家・メディア向け決算説明会(年2回) 証券アナリスト・機関投資家とのIR面談(四半期ごと) 証券アナリスト・機関投資家向けスモールミーティング(随時) 証券アナリスト・機関投資家向け工場見学会(年1回) 個人投資家向けイベント(年1回) 統合報告書(年1回) 定期株主総会(年1回) ウェブサイト(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> IR担当部門 総務担当部門
従業員	明電グループでは、従業員が個々の力を最大限発揮するためには、DEI(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)を推進し、多様な人材が公正な機会を与えられ、心身ともに健康な状態で活躍できる職場づくりが重要になります。このような風土の醸成に向けて、会社と従業員の双方向のコミュニケーションを推進しています。	<ul style="list-style-type: none"> 社長経営方針説明会(年1回) タウンホールミーティング(年1回) 明電みらいミーティング(年30回) 従業員意識調査(年1回) 従業員向け各種研修(随時) 労使協議(随時) 社内ポータルサイト(随時) 社内報(映像:毎月、冊子:年4回) 内部通報制度、相談窓口(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 人事担当部門 法務担当部門 広報担当部門 サステナビリティ担当部門
地域・社会	明電グループでは、事業を通じて培ってきた技術や製品、従業員のスキルや知見を活かし、明電グループらしい特長ある社会貢献活動を行っています。当社が事業を営む地域社会の皆様とのコミュニケーションを図ることで、良好な信頼関係の構築に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> 従業員による地域でのボランティア活動(随時) 地域イベントへの参加・協賛(随時) 出前授業やものづくり教室(随時) GIGAスクール支援(随時) 地域協働授業(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 総務担当部門 サステナビリティ担当部門 DX担当部門